

沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価（総括表）

※対象年度：令和6年度

1 各目標の推進状況

目標	1 県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり 1-②展示コーナーを活用した情報発信 1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実 2-②障がい者等サービスについての広報 2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実 3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等 4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実 5-②広報誌・SNSによる情報発信 5-③各種イベントへの参加

令和6年度 目標推進状況	
概ね順調	
備考（概要等）	
活動指標進捗：3/3「順調」	成果指標進捗：2/4「達成」 2/4「未達成」（SNSインプレッション数、利用登録者数）
○ネパールコーナー新設 ○アメリカ留学フェア	

目標	2 琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集 6-②基調書の継続的な調査・収集 6-③移民関連資料の収集・提供 6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収蔵計画の策定 7-②寄贈資料整理計画の策定 7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵し両方に係る展示会の開催 8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催 8-③デジタルアーカイブの充実 8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信

令和6年度 目標推進状況	
順調	
備考（概要等）	
活動指標進捗：2/5「順調」 1/5「概ね順調」（琉球・沖縄関係展示実施回数）	成果指標進捗：2/5「やや遅れ」（郷土資料購入冊数（購入）、寄贈） 3/3「達成」
○啓明会沖縄関係資料の寄贈（寄贈者：与那原恵氏（ノンフィクション作家））	

目標	3 地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。
関連取組	9-①健康・医療、子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集 10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上 12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信 12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施

令和6年度 目標推進状況	
概ね順調	
備考（概要等）	
活動指標進捗：3/5「順調」 1/5「概ね順調」 （パスファインダー・ブックリスト 作成・更新数（郷土））	成果指標進捗：3/4「達成」 1/4「未達成」（ビジネスルーム利用数）
○"Finding Okinawan Roots" ProjectがLibrary of the Year 2024 で大賞を受賞	

目標	4 県域の中核となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。
関連取組	13-①遠隔地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催 14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書資料の充実及び展示会・イベント等の開催 15-①相互貸借に係る資料配送の支援 15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-①移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施 16-②関係町村との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・関係機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施 18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保

令和6年度 目標推進状況	
取組は概ね順調だが、成果は遅れている	
備考（概要等）	
活動指標進捗：3/4「順調」 1/4「概ね順調」（遠隔地返却サービス利用可能箇所数）	成果指標進捗：1/4「達成」 3/4「未達成」 （市町村巡回資料搬送回数、未設置町村等向け貸出数、電子書籍閲覧数）
○オンライン利用者登録の開始（2024年12月18日）	

3 総括評価（自己評価）

活動指標の進捗について、全17項目中、「順調」が11項目、「概ね順調」が3項目、「やや遅れ」が2項目、「大幅遅れ」が1項目という結果となった。

「順調」以外の項目については、組織体制変更（職員数の減少及び班編成の変更）が要因によるものが3項目、外的要因によるものが2項目、資料費予算減によるものが1項目であった。

活動指標に関しては、資料費の予算確保に向けた取組の継続や職員の専門性及び作業効率を高める取組を充実させていく必要がある。

成果指標の進捗について、全15項目中、「達成」が9項目、「未達成」が6項目と達成が多い結果となった。

成果指標の「未達成」となっている項目については、資料費予算の確保や広報の拡充に取り組む必要がある項目が多くあり、目標達成に向けて継続した取組を行っていく必要がある。

特に資料費については、当館は入館者は増加しているが資料費予算減少に伴い、貸出冊数が減少しているため、資料費予算の確保は重点的に取り組んでいく必要がある。

また、令和6年度利用者満足度調査から追加した「令和6年度（2024年度）中に沖縄県立図書館を利用されましたか。」の質問で利用していないと回答した理由として、当館が「住んでいる場所から遠い」や「駐車料金がいため、利用していない」との意見が多くあったことから、遠隔地でも当館が利用できるよう遠隔地貸出・返却サービスを推進していく必要がある。

2 参考指標の推移

参考指標1	入館者数					備考
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
562,962人	280,451人	233,539人	392,537人	391,823人	397,808人	

参考指標2	蔵書冊数					備考
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	【R6内訳（概数）】 一般・442千冊 児童・68千冊 郷土・352千冊 広域・116千冊
870,895冊	909,650冊	927,856冊	947,577冊	962,626冊	978,087冊	

参考指標3	貸出冊数					備考
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	【R6内訳（概数）】 一般・225千冊 児童・102千冊 郷土・24千冊 広域・46千冊
484,769冊	383,142冊	349,875冊	452,126冊	416,794冊	397,766冊	

参考指標4	レファレンス件数（一般）					備考
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	※R1は一般と郷土の合計値を記載 R2より計数方法見直しあり
16,151件	14,685件	37,001件	33,112件	28,042件	33,545件	

参考指標5	レファレンス件数（郷土）					備考
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	※R1は一般と郷土の合計値を記載 R2より計数方法見直しあり
16,151件	5,777件	5,761件	7,495件	5,650件	5,232件	

その他参考	開館日数					備考
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	※R1～R3は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館あり。 ※R5はシステム更新作業のため、R6.2.6～2.29まで休館。
281日	248日	220日	294日	286日	294日	

4 外部評価（沖縄県立図書館協議会）

令和7年度第2回の本協議会より、多くの委員が入れ替わった。そのため、本協議会の新規委員にもこれまでの状況が把握できるよう、沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価であることの経緯等の確認も含め、事務局より詳細な説明が行われた。

本協議会では、令和6年度の沖縄県立図書館(以下、県立図書館)の活動について、詳細な利用統計をもとにした内部評価、利用者満足度調査(アンケート)の分析結果などをもとに、外部評価を行った。

以下、委員から要望が出た点や今後の検討課題を中心に、外部評価として以下の点を報告したい。

●令和6年度レファレンスの件数が、一般が33,000件、郷土が5,000件と非常に多くのレファレンス件数があることは評価できる。一方で、レファレンス共同データベースへの掲載件数の目標値が12件と物足りなさを感じる側面がある。簡易的な質問を含む多くのレファレンス件数のなかから精査された12件の登録であることは理解できるが、県立図書館として、他の図書館にも資するレファレンス共同データベースへの登録という観点から考えると、一般、郷土、ビジネス支援にも取り組んでいることから、県立図書館の強みを活かしたレファレンス共同データベースへの登録をめざして欲しい。また、パスファインダーなどの登録なども含めて検討していただけるとよいのではないかと考える。現状においても、非来館でも回答できる工夫はされているとのこと、引き続き遠隔地の県民の声を聴くことに努めていただきつつ、居住地域と県立図書館の利用状況との関係について、分析を深めて欲しい。

●目標4の県域の中核となる図書館にかかわり、他の市町村の関係機関とのネットワークは、県立図書館として重要である。そのなかで、資料購入予算の減少が続いていることにより、新規の図書購入にも影響が生じ、利用者満足度調査(アンケート)のなかにも「新しい本を収集して欲しい」といった自由記述もみられる。県域の中核となる図書館として、資料購入予算の確保に引き続き努めていただきたい。